

平成 15 年度「特色ある大学教育支援プログラム」
採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	秋田県立大学	整理番号	1-4-017
応募テーマ	主として学生の学習及び課外活動への支援の工夫改善に関するテーマ		
取組名称	問題発見・解決支援型の学生自主研究制度		
申請単位	大学全体		
申請担当者	鈴木 昭 憲		
<p>(取組の概要)</p> <p>秋田県立大学では、時代の変化に対応できる問題発見能力と解決能力を兼ね備えた人材の育成を目指しており、そのために学生の学習意欲・効率向上のための「対話」と「実践」を重視した教育を行ってきている。</p> <p>当大学が取り組んでいる学生自主研究制度では、希望する学生が入学してすぐに自ら研究グループを組織し、研究計画の立案、実施等を行い、大学では研究資金の交付と教官による技術指導によって学生の主体的な研究を効果的に支援することとしている。</p> <p>一例では、自然エネルギーを動力源にした自家発電装置で、ネパールの山村の発展に貢献したいと考えた学生グループが、自主研究制度を活用して水力発電装置を設計し、その設計を基に企業が装置を制作した。現在は、ネパール政府やNGOの理解も得ながら、現地への設置に向けた新プロジェクトとして活動中であり、こうした自主研究を通して実社会に対応しうる人材が育成されていると考えている。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>この取組は秋田県立大学で、「問題発見・解決支援型の学生自主研究制度」として、創設の平成11年度から実施されているものです。①特色性、組織性、学内支援体制などの面で優れています。②とくに低学年から意欲と能力のある学生の自主的学習と研究を促進させ、結果を明らかにしている点、③適正な規模で適当な研究費が支出されている点を高く評価します。全体として、他の理工系大学に対し十分参考になる事例と認められました。</p>			